

## 理事からのメッセージ

厚沢部町には、町内唯一の医療機関である厚沢部町国保病院があります。

住民のかかりつけ医としての大切な役割を担っており、また、函館市や道立江差病院などで急性期治療が完了した南檜山管内の患者を受け入れて慢性期医療・緩和ケアを提供する役割も担っています。

高齢者を支える地域包括ケアシステムの一環である在宅医療・介護連携として、病院と介護事業所の連携をスムーズに行うための医療介護連携シートの活用なども行っています。

しかし、近隣の医療機関と同様に医療従事者の確保が厳しくなっており、今年度から下記のとおり看護職員等養成修学資金貸付の増額も行っています。また、人材を含めた限られた医療資源を有効に活用する対策を南檜山メディカルネットワークの一員として検討を行っております。

これからも住み慣れた地域で暮らし続けていく上で必須な医療・介護サービスの提供体制を維持できるよう取り組んでまいります。



厚沢部町長 佐藤 正秀

## 厚沢部町の取組について

厚沢部町では、将来、厚沢部町または厚沢部町国保病院において看護職員として従事しようと考えている学生に『看護職員等養成修学資金貸付』を行っております。

目 的	将来厚沢部町国保病院等において看護師等として従事しようとする人に対してその修学に必要な資金を貸付します。
貸付対象	文部科学大臣が指定した学校又は厚生労働大臣が指定した看護師養成所に在学中で将来、厚沢部町国保病院等に看護職員として従事しようとする人。
貸付金額	月額50,000円
貸付期間	学校等に在学期間中
返還免除要件	法定の免許を取得した日から2～5年（※就学年限により違いあり）厚沢部町国保病院等において看護業務等に従事した場合。

看護職員等養成修学資金貸付については、厚沢部町役場 保健福祉課（電話0139-64-3319）にお問合せください。

『給付型奨学資金制度』もあります。

対象要件は、学力が一定以上であること、住民税非課税世帯であること、保護者が当町に住所を有しており町税等の滞納がないことなどです。給付額は月額30,000円です。

奨学資金制度については、厚沢部町教育委員会（電話0139-64-3318）にお問合せください。





## ♪地域体験研修 メニュー♪

○シニアカレッジ体験  
(健康講話、健康体操)

○追分会館  
山車会館 見学

○開陽丸 見学



道立江差病院には、札幌医科大学が設置した地域医療研究教育センターがあります。

このセンターでは「南檜山地域医療教育学講座」の一環として、初期臨床研修医や医学生が実習を行っています。

実習期間中には、南檜山地域の各町の医療・福祉施設や、歴史的・文化的施設を実際に見たり、体験いただくことにより、南檜山の現状や魅力を伝え、地域医療や南檜山地域への関心を高めてもらうことを目的とした「**地域体験研修**」を行っています。

研修を通じて、医学生等の皆さまに、南檜山地域を好きになっていただき、「将来は南檜山で働きたい！」と思っていただくことによって、南檜山地域の医師の確保につながることを期待しています。

今回は、令和6年10月31日に行いました。

# 地域体験研修 in 江差



♪「江差バトン体操」の様子♪



♪フィットネススタジオJOY原崎先生による体操です♪

令和6年10月31日、江差町の「まなびっく」にて、「シニアカレッジ」の健康講話、健康体操の講座が開催されました。参加者は、インストラクターの先生と一緒に体操しました。今回、地域体験研修に参加していただいた佐々木さんも参加しています。

江差町の照井町長と面談し、町長より、江差町の歴史などを観ていただくとともに、この研修で学んだことを生かして、地域医療に貢献してほしい、というお話がありました。



左：佐々木さん 右：江差町 照井町長



開陽丸の前にて記念撮影



地域体験研修参加者  
佐々木 圭太 さん（札幌医科大学5年生）

またぜひ南檜山に来てください！！  
お待ちしております！！